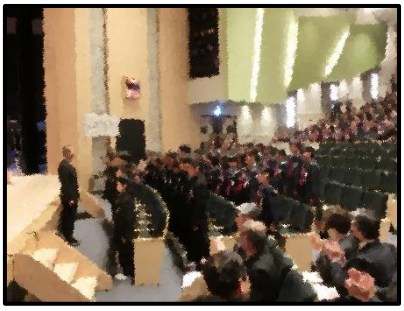
新しい歴史をきざむ嘉島中

嘉島町立嘉島中学校　平成２９年度　４月号

８１名の新入生を迎え、２４４名でスタート！

風薫る麗らかな４月１１日、第６７回嘉島中入学式が開催され、８１名の新入生が入学してきました。新入生を代表して１年２組の[redacted]さんが力強い誓いの言葉を述べ、平成２９年度の嘉島中がスタートしました。在校生は初々しい新入生を見て、新たに気持ちで１年間頑張ろうと決意しました。



静岡県知事訪問

静岡県は、災害時に嘉島町を重点的に支援することになっており、昨年の熊本地震の際には多大な支援をしていただいて以来、本校と交流が続いています。

３月には、本校の生徒会執行部が防災先進県である静岡県の学校を訪問し、現地の生徒と防災について交流活動をしました。

そして、今月１３日には、静岡県の川勝平太知事が本校を訪問されました。その中で、先日の交流活動のことや、７月に静岡県の学校の生徒が本校に訪問し、再び防災教育の交流をすることの話をされました。これらの交流を通して防災についての理解を深めていきます。

“世界の音色”に励まされました

熊本地震から１年。生徒たちはもちろん職員も今まで経験した事のない自然災害を経験し、将来への不安で一杯だった時期を全員で乗り越えてきました。

そのような中、４月１３日（木）にウィーン・フィルハーモニー管弦楽団の４人が、復興支援の一環で嘉島町の町民会館ホールでコンサートを開いてくださいました。コンサートでは、嘉島町の町鳥にちなんで、ハイドンの「ひばり」やモーツァルトの「狩」を演奏してくださり、華やかな音色に心癒されました。フィナーレでは、吹奏楽部が「ふるさと」の曲で共演しました。その演奏に合わせて、会場全体で歌声を響かせることができました。吹奏楽部にとって、世界最高の方々と共演できたことは、たいへん貴重な機会となったことと思います。

かみましき「命と防災の日」

４月１４日。この日は地震発生から１年となった日です。もう１年…。まだ１年。思いは様々だと思います。自然災害に対する認識を深め、平時の備えについて確認するとともに命の大切さについての理解を一層深めるために、上益城郡では、この日を「命と防災の日」と定めました。

この日、本校では「命と防災の日」の取り組みとして、防災・交通教室を行いました。最初に犠牲者への黙祷を行いました。次に、防災に関する DVD を視聴しました。生徒は真剣な眼差しで視聴していました。また、防災担当の橋本先生が防災・災害時についての説明を行い、全員で「自助・迷わず行動・指示に従う」の３つのポイントを確認していきました。

その後、安全委員会を中心に自転車の乗り方についての説明をし、生徒一人一人の自転車点検を行いました。嘉島町は県内で交通事故の発生件数が多い町です。自転車の乗り方のルールを徹底し、自分の命は自分で守る「自助」の精神で、安全に登下校をしてほしいと思います。保護者や地域のみな様には、普段から、本校の生徒の登下校の様子をみていただき、本当にありがとうございます。今後もあたたかく見守っていただけたらと思います。